



生活・ものづくりの学びNetニュース

2011年1月発行



ご挨拶 2011年は、生活やものづくりに必要な学びの意義を、多くの方々と語り合える年にできたらいいですね。今日は、ネットワークの参加者全員に、設立総会以降のネットワークの活動と3月予定のイベントをお知らせします。みなさんの中には、この6カ月、ネットはどうしたのかなと心配した方もおられたと思います。このような便りも、行く行くはメールで早く充実した内容を配信できるようにしたいと考えています。どうぞ、皆様のご協力をお願い申し上げます。

世話人代表 鶴田敦子

「生活やものづくりに必要な学びの充実をめざすネットワーク」設立総会報告

本ネットワークの設立総会を、2010年9月19日 聖心女子大学宮代ホールにて開催した。教育関係者95名、企業13名、一般5名、計113名の参加であった。

【総会】

I ネットワーク.設立までの経過報告

2月 日本家庭科教育学会が中心となり「家庭」「技術・家庭」の授業時間増をめざすネットワークへの参加呼びかけを行う

6月 呼びかけ人会議

6~8月 入会申込受付を開始

9月 世話人会議。ホームページ開設

9月19日 設立総会開催

9月15日現在の入会者：個人365人、団体21団体（日本家庭科教育学会 日本産業技術教育学会 産業教育研究連盟 日本家政学会 日本家政学会家政教育部会 日本衣服学会 国際服飾学会 日本調理科学会 日本消費者教育学会 日本家庭科教育学会関東地区会 日本家政学会生活経営学部会 日本損害保険協会 築野食品工業 日本私立小学校連合会家庭科部会 西尾家具 大修館書店 教育図書 日本標準 開隆堂出版 クロバー（株） 家庭科教育研究者連盟）

呼びかけ人・団体はリーフレット参照

II. 審議事項

1. 活動方針

(1) 二つの柱で活動する。

1) 交流・啓発活動：生活やものづくりに必要な学びを充実させる意義について、交流・啓発の活動に取り組む

2) ロビー活動：学校教育において、生活やものづくりに必要な学びが充実するように、ロビー活動に取り組む

具体的には

○1. 学校や教育課程のあり方などについて学習を深め、生活やものづくりに必要な学びを充実させることについて意見交換会や学習会を開きます。

○2. ネットワークへの参加団体・個人を増やします。

○3. 毎年度総会を開催し、その年度の具体的な目標を決め行動します。

○4. 必要に応じて文部科学省等にロビー活動をします。

○5. 上記にかかわらず、それぞれの個人・団体の総意でできることをします。

○6. その他

(2) 2010年度の活動

1) 交流・啓発活動

① ネットワークの会員拡大の活動に取り組む。・他教科の教育関係者・保護者・不登校の関係者等々様々な人々に広げていく

② 生活やものづくりの学びを紹介するパンフレットを作成する。

③ 学習し、ものづくりを体験する交流会を開催する。

2) ロビー活動

① 世話人は、文部科学省（初等中等局・スポーツ少年局・生涯学習局等）や中央教育審議会、男女共同参画局等に対するロビー活動を企画し、入会者とともに実施する。

② 会員は、文科省政策創造エンジン「熟議カケアイ」<http://jukugi.mext.go.jp/> に意見を届ける

3) 会員への連絡体制の整備

① HPの活用 会員への情報を適宜 提供する（会報を作成しHPで会員に届ける）

② メールマガジン活用の体制に取組む

フロアからも活発に意見が出され、学校を、子どもたちが自分を肯定し、豊かな人間関係をつくり、手と頭を使ってモノをつくるという人間らしい活動がある場所に変えていく必要があることが確認された。

2. 2010年度前期決算報告と後期予算

設立期のため、設立総会前（6月～9/15）と後（9/16～3月末）に分けて会計報告および予算承認をした。（年会費は個人1口1,000円、団体1口5,000円 または各々それ以上）

【記念講演】

「現代の子どもに必要な学びとは」

講師：臨床教育研究所「虹」所長・
法政大学教授・早稲田大学客員教授
尾木 直樹氏

尾木氏はアンケート結果をひきながら、高校生は現代社会では努力がむくわれたり、これからよくなったりすると感じている割合が低いことを紹介した。子どもは社会に希望がもてず、政治への参加にも関心がう

すい。一方、大人は子どもを政治や社会に参加させず、型にはまったよい子・学力を押し付けている。今はどんな社会かという認識から必要な学力・学びを考えるべき。社会生活や家庭生活を子どもとともにする中で、生活することが教育になるのである。これからの多文化共生社会は大人が率先して実践し、子どもに必要な感を感じさせるべきだ。子どもも参加し、知恵を出し、自己肯定感を高めるような参加型社会が、今求められると結んだ。本ネットワークにも子ども・学生の参加という今後の課題を示された。



【リレートーク】

「学校の現状とネットワークに期待すること」

司会：沼口 博氏（大東文化大学）
富永弥生氏（東三鷹学園三鷹市立北野小学校教諭）：「現場が元気になって自分の生活を豊かにしていきたい」という思いで家庭科の授業に取り組んでいる。
藤木 勝氏（元学芸大学附属大泉中学校教諭）：具体的な材料に教えられるというモノを作る体験の意義や人とモノとのかわり

を学ぶには時間がたっぷり必要だ。

大矢英世氏（桐朋高等学校講師）：家庭生活を大切にし、自分の足元をみることから、社会をみることまで視点を広げることが家庭科授業で取り組んでいる。

針谷安男氏（宇都宮大学教育学部教授 日本産業技術教育学会）：モノづくりは人づくりであり、人格形成に繋がるものなので、一般教育としてモノづくりをすることの必要性がある。

鬼頭眞一郎氏（株式会社キトウ社長）：子どもに完成させた感動を味わってもらいたい。危険だから道具を使わせない、失敗したら

すぐ新しい材料を与えるのではなく、先生自身が道具にこだわりモノづくりを楽しんで、子どもにこういう経験をしてもらいたいという思いで授業をしてもらいたい。



総会後の活動報告

(1) 情報活動 現在、石井克枝氏中心に、数名の世話人・実行委員（安東・河野・沼口・知識・佐々木）で、生活とものづくりの実践が一目でわかる写真入りパンフレットを作成中。しばらくお待ちください。

(2) ロビー活動 ①11月19日 文部科学大臣政務官 笠（りゅう）浩史氏、②12月2日 衆議院議員 松崎哲史氏、③12月2日 衆議院議員 高井美穂氏、④12月22日 技術科・家庭科教科調査官

要望書を持参し、以下2点を要望した。

1. 次回の学習指導要領改訂で、「家庭」、「技術・家庭」の授業時間を当面、1989年に戻すようにしていただきたい。
2. 中央教育審議会の委員に、家庭生活に関する教育を重視する識者を登用していただきたい。

(3) 拡大活動

リーフレット配布 小・中・高校の家庭科・技術科教員研究会、関連学会などに約 8000

部配布。

会員数（2010年12月16日現在）

個人会員 486名 団体会員 24団体

呼びかけ人：個人 21名 団体 12団体

後援団体：4団体

その他

1) マスコミ報道

①9月19日18時 NHKTV ニュースで設立総会と鶴田先生インタビューが放送された

②11月27日朝日新聞夕刊1面で「家庭科熱い男子校」の記事が掲載された（別紙）。

2) 学会等

① 日本教育学会第69回大会（8月22日）：ラウンドテーブル「教育学は〈生活〉をどのようにとらえてきたか」では前田賢次（北海道教育大学）・堀内かおる（横浜国立大学）・田村昌宏（日本社会事業大学）・濱崎たまえ（東京都立東大和市立第2小学校）の報告をもとに生活を対象とした家庭科の学びの重要性についての討論が中心に

行われた。

② 日本教育方法学会（10月10日）：
ラウンドテーブル「子どもは学校に何を求
めているのか」で鶴田敦子（聖心女子大

学）・船橋一男（埼玉大学）・西野博之（フ
リースペースたまりば）・伊深祥子（元与野
西中学校）が報告をした。

♪♪ 第1回交流会のお知らせ ♪♪

教材のヒントになるデモンストレーションとワークショップを企画しました。ふるって
ご参加ください。

テーマ：今、農と食の教育に必要なこと

☆ 講演

渋川祥子氏（横浜国立大学名誉教授）「簡単にできる自分流食べ物-簡単な副菜と
おやつ-」

☆ ワークショップ

内田康彦氏（荒川区立尾久八幡中学校）「ペットボトルでできる生物育成」

日時：3月26日（土）午後1時～5時

場所：聖心女子大学2号館4階（東京都渋谷区広尾4-3-1 地下鉄日比谷線広尾駅3分）

申込：ハガキまたはeメール（あて先 seikatsu_nt@yahoo.co.jp）で3月10日までに
事務局にお申し込みください。 *交流会の記事は2月末日に改訂しました。

会員拡大活動のお願い

生活やものづくりに基づいた教育の必要性の声を高めるために、皆様に会員を一人でも
増やしていただく必要があります。

同封のリーフレットをコピーするなどして、ネットワークを周りの方や研究会のメンバ
ー、教員、学生、保護者、一般の方に紹介し入会をお勧めくださるようお願いいたします。

発行者 生活やものづくりに必要な学びの充実をめざすネットワーク 事務局
〒112-0012 東京都文京区大塚4-39-11 仲町YTビル3F 日本家庭科教育学会事務局気付
メールアドレス：seikatsu_nt@yahoo.co.jp FAX：03-3902-1668
ホームページ：http://www.geocities.jp/seikatsu_monozukuri_nt/